

# 号外！

次は4月！初顔合わせの、この二人！

## 第40回 「佐世保かっちえて落語会」 瀧川鯉昇・春風亭一之輔

私たちの落語会は、次回で40回！という記念すべき節目の年を迎えます。だからといって、ハウステンボスのように花火を打ち上げたりしませんし、歌舞伎者のように佐世保川で船乗り込みもやりません。テレビCMもありませんし、アーケードに大きな看板も出しません。ボンビーですから（笑）。いつものように、めったに聴けない見られない一流の噺家さんから、“わかる人”だけが、笑いと感動をもらうだけです。で、次回は、落語芸術協会の大看板であり、“脱力系爆笑派”として唯一無二の存在である鯉昇師匠と、落語協会の人気者であり、“いまもっともチケットが取れない噺家”的一人と言われている一之輔師匠に来てもらいます。で、この組み合わせは、全国どこの落語会でもほとんどない、本場の東京でもほとんどない、とても希少で貴重な二人会ですよ。もっとも、「佐世保かっちえて落語会はレアな組み合わせが多い」と、噺家さんたちの間でも言われているようですが・・・。

ここで突然ですが、次回も「小中高生は無料！」です。

「無料だから席は後ろに設ける」・・・なんてセコイことはしません。申し込み順に、ちゃんと指定席を確保いたします。ご両親と子供ふたりの場合、四人横並びの指定席にします。ですから、この機会にご家族揃っていらっしゃいませんか？特に、まだ一度も落語ライブを体験したことがない子供たちに鑑賞してほしいですね。だって、こういう出演者ですよ。

瀧川 鯉昇：1953年生まれの72歳。いかにも落語家らしい風貌や古典落語のなかにはさむナンセンスギャグなど、その飘々とした軽いおかしみのある高座は現在もっとも落語本来の楽しさ、面白さを伝えてくれる希少で特異な存在である。登場してからしばし無言の間（ま）があり、その表情だけでも笑えると、佐世保でもファンになった人は多い。一度聴いたら氣になって、二度聴いたら癖になり、三度聴いたら抜けられない脱力爆笑系の不思議な芸風でありながらも、文化庁芸術祭優秀賞受賞など、その表現力の確かさは高く評価されている。

春風亭一之輔：1978年生まれの47歳。2001年23歳の時に春風亭一朝に入門。2012年、34歳の時に異例の21人抜きで抜擢真打となる。その快挙は大いに話題となるが、浮き足立つことなく、その後も精進に精進を重ね、2年前の2023年に『笑点』のレギュラーとなってからは、全国的な人気者となり、いまもっともチケットが手に入りにくい噺家の一人と言われている。私たちの「かっちえて」には、10年前の2015年に初登場以来、次回で7回目。古典落語を現代的な感覚で演出するその独特の面白さを、佐世保のお客様方も、ぜひ、実感していただきたい。

どうです？前座として、地元の子供たちによる“地産地笑”の創作落語がある「鯉昇・一之輔」の二人会なんて、他ではめったに鑑賞できないのに、小中高生は無料ですし、大人の料金だって、昨今の物価高に逆らって15年間据え置きの金額だし、こんな落語会はないと思いますので、お早めのご予約をおすすめいたします。笑う門には福来る、笑顔の人には幸来る。

次回も！あなたと！会場でお会いできることを、べらぼうに願っております。

(文責・海老原靖芳)

**2026年4月29日(水・祝日)  
開演午後4時  
佐世保コミュニティーセンター5F  
指定席（大人）：2,500円  
小中高生指定席：無料（限定50名）**

※ 次回も指定席のみの販売とさせていただきます。

※チケット販売・問合せ先

**佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局**

〒857-1174 佐世保市天神 3-2702-4 Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～17時